



Seahawk Pte Ltd 最高経営責任者。ノースカロライナ大学卒業。シンガポールでの銀行で約10年間、金融商品のディーリングをした後、2006年までオーストラリアで自己資本を運用するプライベート・トレーダーとして活躍。帰国後、FX業者でディーリングやコンサルティング業務に従事。現在、運用の傍ら投資関連の企画やルール開発を行っている。アドバイザー兼トレーダー仲間として、ラリー・ウィリアムズやジョー・ディナポリ、ラルフ・ビンズから絶大な信頼を得ている。

【用語集】

■COT レポート

COT レポートとは、アメリカの政府機関である CFTC（商品先物取引委員会）が毎週金曜日に公表するもので、そこには、毎火曜日におけるトレーダー種別毎の先物各銘柄ポジション状況などが書かれています。COT レポート自体は CFTC のサイトから無料でダウンロード可能です；

<http://www.cftc.gov/MarketReports/CommitmentsofTraders/index.htm>

■COT レポートインデックス

COT レポートのトレーダー種別毎のポジションをある一定期間の推移を指数化して、0 から100%で表示しています。通常、過去6ヶ月間のポジションの指数化しています。

■取組高

取組高とは、反対売買されずに残っている売買契約の数量のことで、未決済残高または建玉残とも言います。

■シーズナル

シーズナル（シーズナルパターン、シーズナルトレンド）とは、季節性周期のアノマリーです。

■バリュエーションモデル

バリュエーションモデルとは、ラリー・ウィリアムズ氏によって開発されたインディケータの一つで、国債、金利市場と比較したインディケータです。割高か割安になっているか示します。

NY 金先物

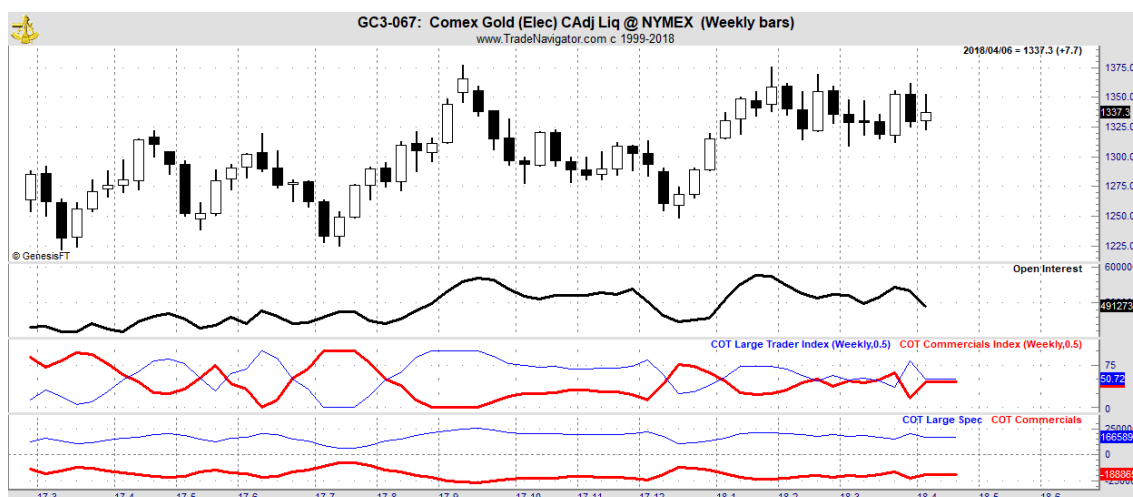


図1 NY 金先物（週足）、取組高、COT レポートインデックス、COT レポートデータ：ジェネシス社

実需筋のコマーシャルズが売りヘッジを少し減らしてきています。一方で、大口投資家のファンド筋はロングポジションを少し減らしてきていました。1350 ドルが厚い壁になっているため、米中貿易摩擦が懸念されて投資資金が金市場に流れても壁を突破することはできていません。



図2 データ：ジェネシス社 NY 金先物（週足）、シーズナル

ここまでシーズナルにそった動きをみせているゴールド市場ですが、もうしばらく横ばい状態が続くようです。

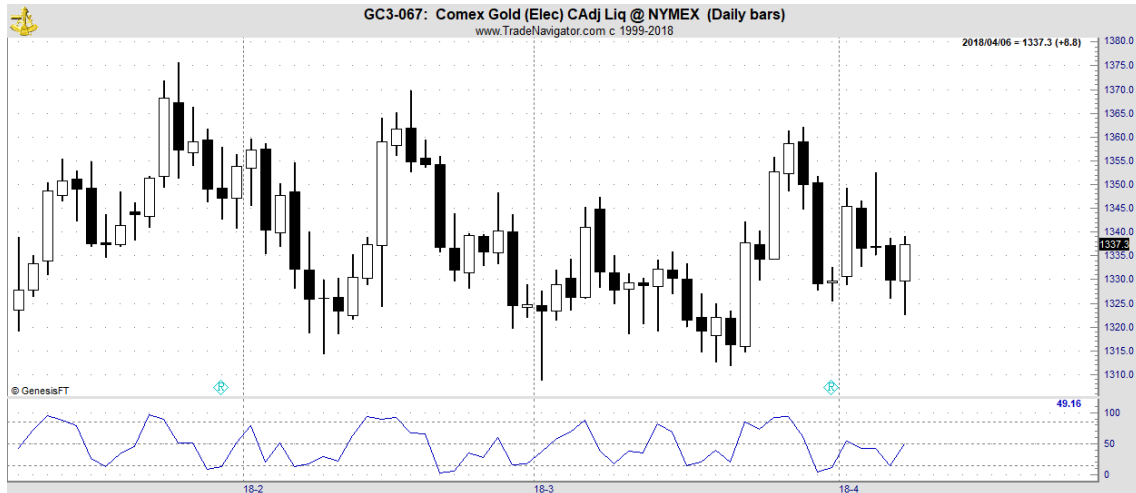


図3 データ：ジェネシス社 NY金（日足）、ストキャスティックス

NY金先物のレンジ：4月2日～4月6日

始値	高値	安値	終値	先週末比
1330.7	1352.5	1322.6	1337.3	0.58%

NY金先物は長く横ばい状態が続いています。注目すべきは短期ストキャスティックスとプライスのダイバージェンスです。プライスが下げてきている中で、短期ストキャスティックスは安値を切り上げてきています。先週の金曜日はアウトサイドバーの陽線でひけているため、少し押されると思います。しかし、金曜日の高値をブレイクすると、反発は強まるでしょう。

■ NY 原油先物

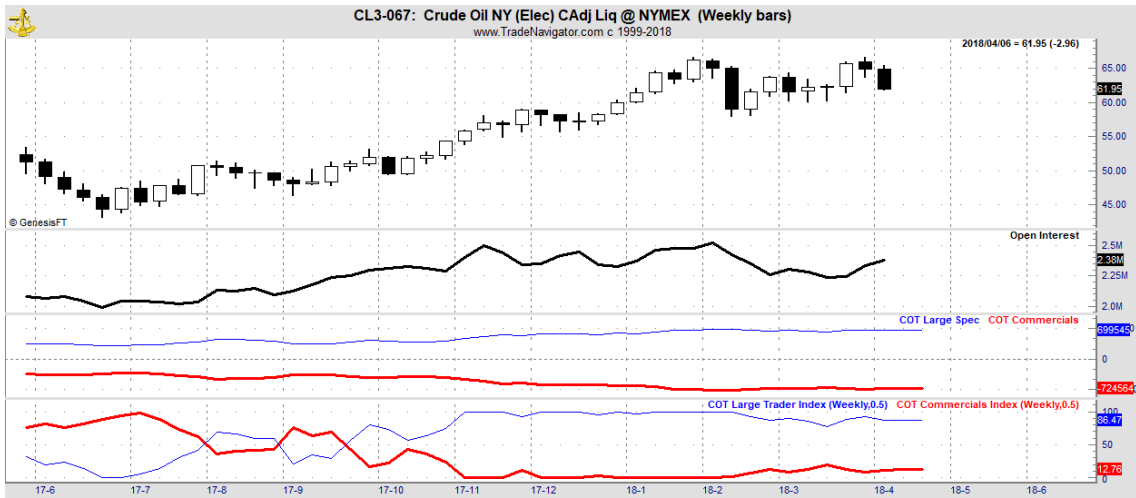


図1 NY原油先物（週足）、取組高、COTレポート、COTレポートインデックスデータ：ジェネシス社

取組高が上昇していますが、実需筋のコマーシャルズの売りヘッジの解消が影響しているようです。66ドルの壁を突破することができなかったことも両者のポジションに影響を与えているようです。

US oil stocks and export

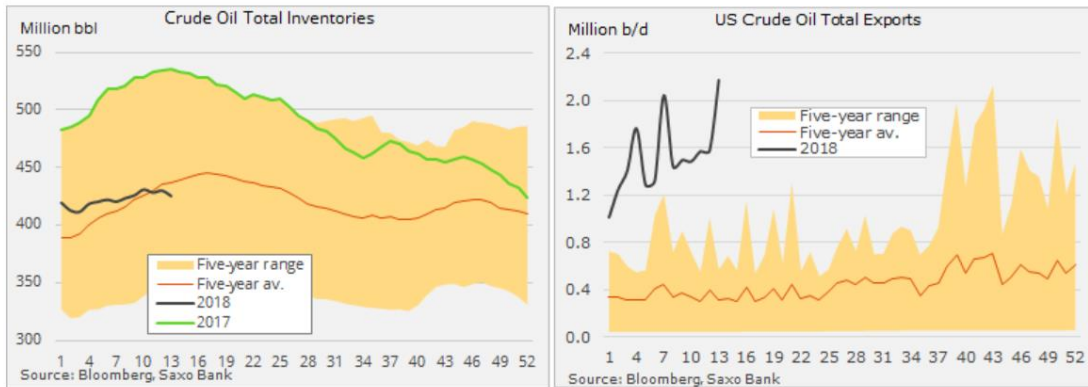


図2 データ：ブルームバーグ、サクソバンク 米原油輸出

アメリカの原油在庫量は減少しています。アメリカの原油輸出先は中国ですが、米中貿易摩擦を懸念する見方も強く、原油価格にプラスとはならないようです。

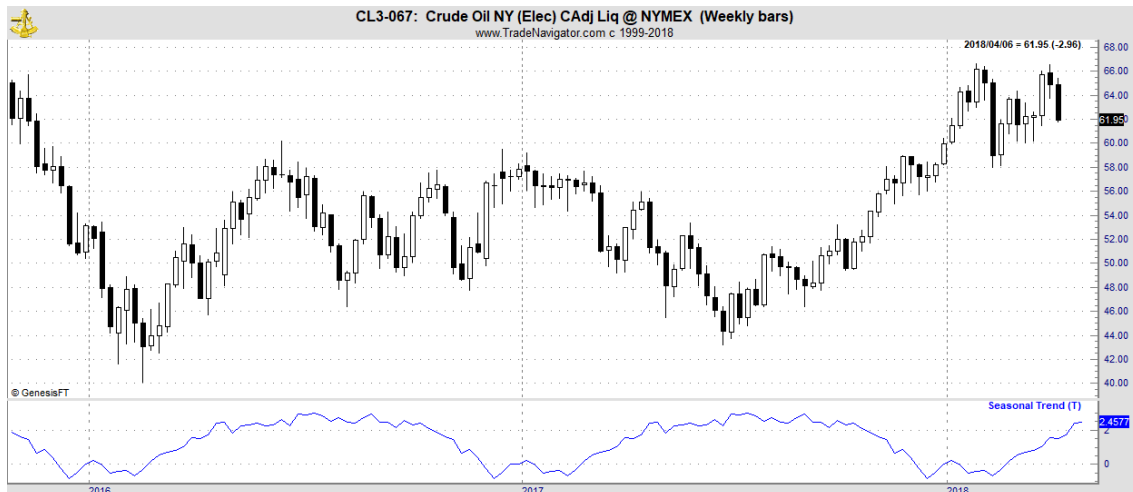


図3 データ：ジェネシス社 NY原油先物（週足）、シーズナル

NY原油先物（WTI）は、先週、押されると予測されていました。しかし、7月までWTIは堅調に推移する傾向が強く、完全にベアマーケットに突入するとは思えません。

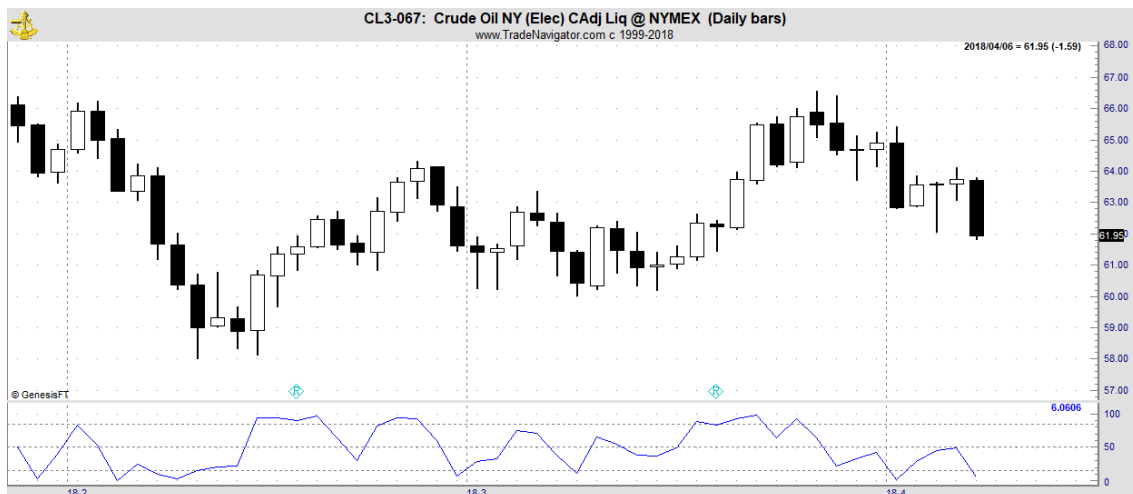


図4 データ：ジェネシス社 NY原油先物（日足）、短期ストキャスティクス

NY原油先物のレンジ：4月2日～4月6日

始値	高値	安値	終値	先週末比
64.91	65.42	61.81	61.95	-4.57%

NY原油先物市場は短期的に売られ過ぎになっています。しかし、短期ストキャスティクスは0%まで下げていないなど、反発が期待できるパターンになっています。注目すべきは高値を切り下げてくるようだと、このまま下降トレンドに突入すると思います。その際、58ドルが重要なサポートになるでしょう。

■ E-mini S&P500 先物

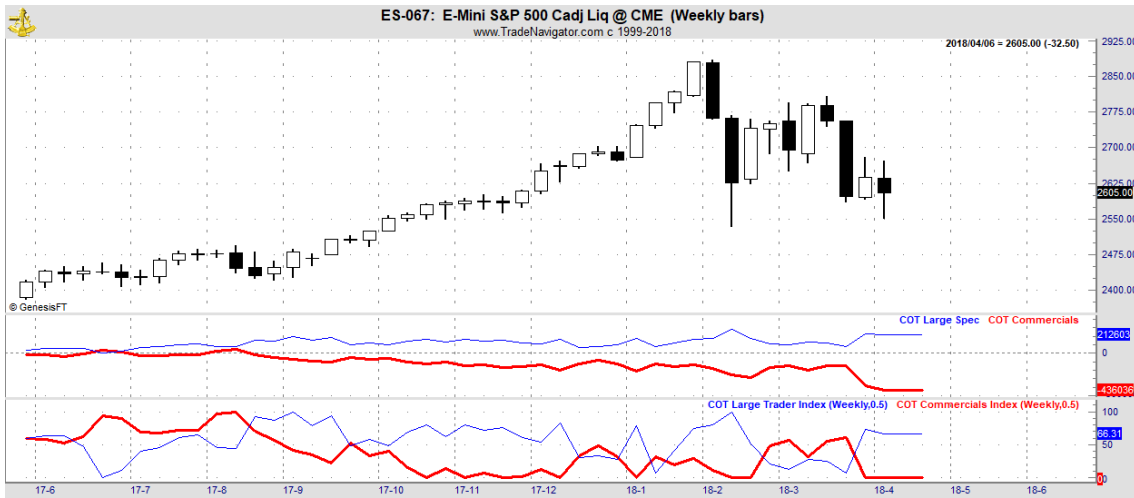


図1 E-mini S&P500 先物（週足）、COT レポートインデックス、COT レポートデータ：ジェネシス社

先週、E-mini S&P500 先物は安値を更新しましたが、買い戻されてひけています。実需筋のコマーシャルズは売りヘッジポジションを増やしています。年初来の安値を更新していませんが、コマーシャルズは保守的に売りヘッジを増やしています。そのため、E-mini S&P500 先物の大きな反発は期待できません。

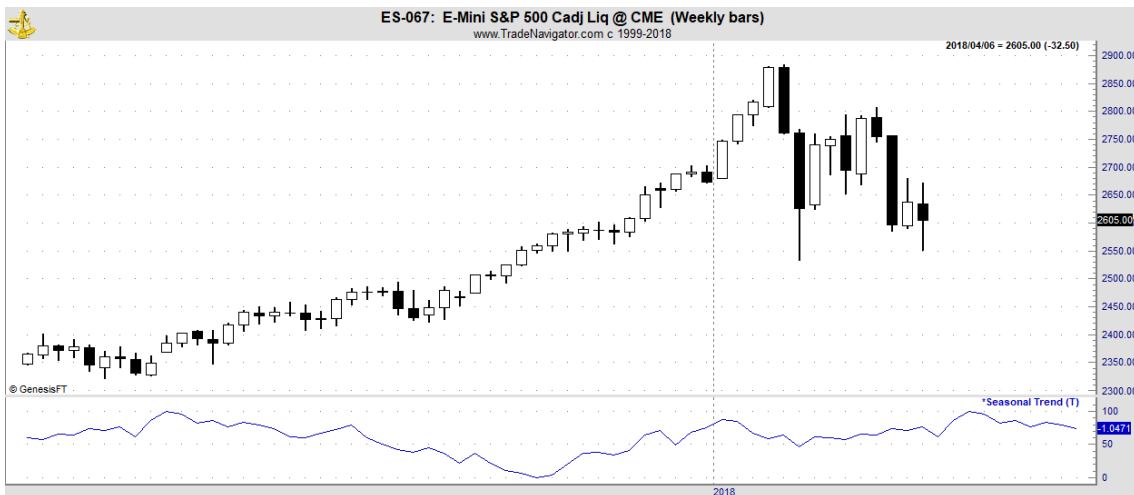


図2 データ：ジェネシス社 E-mini S&P500 先物（週足）、シーズナル

E-mini S&P500 先物は今週、押される傾向が強く、来週から反発しています。そのため、2月の安値が重要なポイントになってきます。このポイントを割らないと、来週は反発が期待できます。

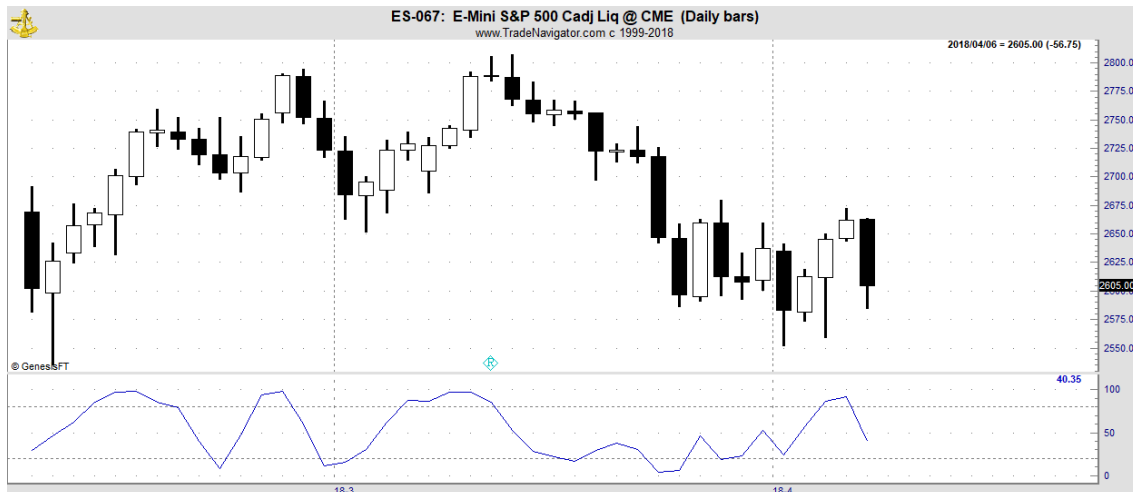


図3 データ：ジェネシス社 E-mini S&P500 先物（日足）、ストキャスティクス

E-mini S&P500 先物のレンジ：4月2日～4月6日

始値	高値	安値	終値	先週末比
2635.00	2672.25	2552.00	2605.00	-1.23%

E-mini S&P500 先物は、復活祭明け、堅調に推移しましたが、米中の貿易摩擦を懸念して金曜日に大きく下げています。短期ストキャスティクスはまだ売られ過ぎになっていません。もう少し押されてから反発すると思います。来週は季節性周期的に上げてくると予測されています。

■CME 日経 225 先物

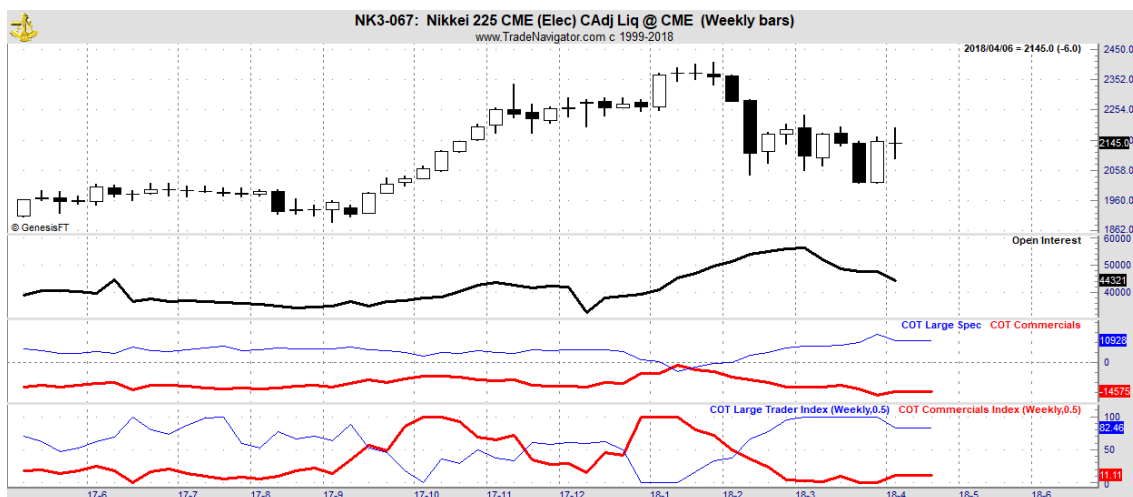


図1 CME 日経 225 先物（週足）、取組高、COT レポートインデックス、COT レポートデータ：ジェネシス社

実需筋のコマーシャルズが売りヘッジポジションを少し解消しています。そのため、先週からの

買戻しは予想以上に強いと言えるでしょう。一方で、大口投資家のファンド筋はロングを売り落ちして、目先の利益を確定させていたようです。

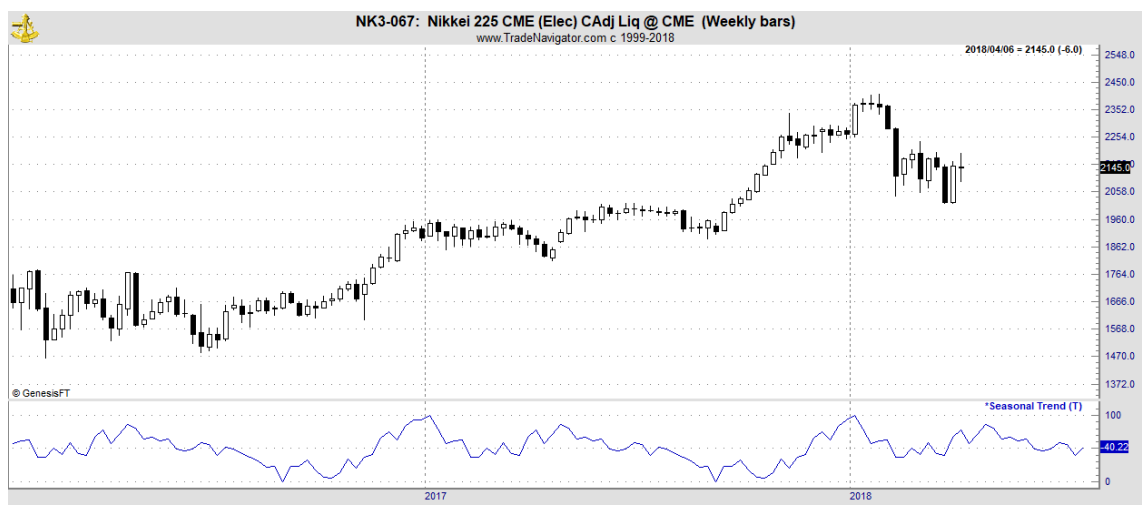


図 3 データ：ジェネシス社 CME 日経 225 先物（週足）、シーズナル

CME 日経 225 先物は、今週から一週間は下げる傾向が強くなっています。しかし、その後、4 月末まで上昇しています。よく知られているゴールデンウィーク前の堅調さです。3 月の安値を割らない限り、高値を更新していく可能性が高いでしょう。



図 3 SaxoTraderGO CME 日経 225 先物（日足）、OBV

CME 日経 225 先物のレンジ：4 月 2 日～4 月 6 日

始値	高値	安値	終値	先週末比
21440	21915	20920	21425	-0.23%

CME 日経 225 先物は、予測通り、反発して上げてきました。上記のチャート上に黒線で記しま

したが、プライスは下降していますが、OBVは上昇中です。予想以上に買いが入ってきているようです。22500円を超えて高値を更新していくと思いますが、今週は押しが入りやすい一週間になっています。ゴールデンウィーク前に大きな反発が期待できそうです。

【本レポートについてのご注意】

- 本レポートは、投資判断の参考となるべき情報提供のみを目的としたものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。
- 本レポートは、作成時点において執筆者およびサクソバンク証券（以下「当社」といいます。）が信頼できると判断した情報やデータ等に基づいて作成されていますが、執筆者および当社はその正確性、完全性等を保証するものではありません。また、本レポートに記載の情報は作成時点のものであり、予告なしに変更することがあります。
- 本レポート内で示される意見は執筆者によるものであり、当社の考えを反映するものではありません。また、これらはいくまでも参考として申し述べたものであり、推奨を意味せず、また、いずれの記述も将来の傾向、数値、投資成果等を示唆もしくは保証するものではありません。
- お取引は、取引説明書および約款をよくお読みいただき、それらの内容をご理解のうえ、ご自身の判断と責任において行ってください。本レポートの利用により生じたいかなる損害についても、執筆者および当社は責任を負いません。
- 本レポートの全部か一部かを問わず、無断での転用、複製、再配信、ウェブサイトへの投稿や掲載等を行うことはできません。